

総合学科だより

「産業社会と人間」を終えて①

将来の夢について、たくさん悩み、親と話し合ったり、自分で気になる職業を積極的に調べることができて良かったです。今まで以上に働く大変さや、夢をつかむためにやらなければならぬことも学ぶことができました。

最初に「自分のことを知る」ことから始まり、小さい頃の私から今の成長まで、見直すことができました。夢はあったけれど、その職業についてあまり詳しくなかったし、軽い気持ちだったと、今思います。

「職業インタビュー」で下呂警察署にお邪魔させていただきました、仕事の大変さと社会に貢献する大切さを学びました。警察の仕事は、すごく厳しそうでしたが、その厳しさが社会の平和をつくっているんだとわかりました。「その日その日でする仕事が違うから、毎日仕事にワクワクし、楽しみに取り組んでいます」という言葉がとても心に残っています。私も将来は社会に貢献したいし、仕事にやりがいをもって取り組みたいです。

集中講義で高山市役所の方の話を聞き、「自分のこと、日本のことを知らない人は、国際人にはなりえない」という言葉が自分の中で響いて、今までの自分を見直すことができました。ただ、「英語を完璧にすれば夢をかなえることができる!」、「だったら英語だけ頑張ればいいや!」などと考えていた自分が情けなく感じました。まずは、自分のことを学んでいこうと思います。

言語・文化系列で、積極的に学んでいきたいと思っています。日本の文化を学び、外国人に質問された時、すつと答えることができるようになりたいし、たくさん外国人と関わることができるようになりたいです。

中島美晴 (竹原中学校卒業)

「産業社会と人間」を終えて②

「産業社会と人間」の授業を一年間通して思ったことが、三つあります。

一つ目は、職業インタビューと夏休みに行ったボランティア、デュアルシステムを通して思ったことです。職業インタビューでは、南保育園の職員の方に質問をさせてもらい、保育士になるには資格を取らなくてはいけないことや、経歴などたくさん学ばれました。夏休みに行ったボランティア

アでは、実際に子供と遊ぶことによって学んだ部分もあったし、自分に何が足りないかを見つけることができました。ボランティアでは、自分の立場を忘れて自分たちで楽しんでしまいました。一緒に楽しむことも大切だけど、子供たちの安全などを考えて行動しなくてはいけないと改めて実感させられました。デュアルシステムでは、わかば保育園で二日間、クラスに入りました。そこでは、たくさん嬉しかったこと、やりがいを感じました。私の名前を覚えてくれて、「まりえんせー」とか、「また来てね」「大好き」といってくれて、二日間でしたがやってよかった、とやりがいを感じ、保育士になりたいと強く思うことができました。

二つ目は、「産業社会と人間」にある「自分を知る」や「マイライフプラン」を通して、自分は今何がしたくて、将来どこで何をしたいのか、明確にすることができました。性格などを知ることによって、自分には何があっていて、保育士になるためにはこれからどうしていかなくてはいけないのかをより詳しくすることができて良かったです。

三つ目は、模擬授業や講話で、二年生でやる授業を試しに体験したり、来年に向けての準備を少しずつできたことがとても良かったです。

最後に、この一年はとても早かったです。一年間取り組んだ「産業社会と人間」は、自分にとって大切なものになりました。総合学科には、普通科にない取り組みがあり、自分について、将来について知ったり考えたりすることがとても大事なことで学びました。「産業社会と人間」でしか考えることができないことでした。今から少しずつ、将来の夢をかなえるために動いていきたいです。

二村茉莉咲 (下呂中学校卒業)

「産業社会と人間」を終えて③

「産業社会と人間」の授業では、自分の将来の夢のためのことを多く学びました。

一年間を通して一番大きかったものは、やはり系列選択だと思います。社会人講話では、自分の行きたいと思っていた健康福祉系列以外の話を聞くことで、他の系列にも興味を持つことができたし、中学の時には知ることのできなかつた益田清風の特色も知ることができ、系列選択に大きく影響がありました。職業インタビューで共寿さんに行かせていただいた時には、専門学校が就職かという高校卒業後進路を考える上でもっとしっかりと調べ、考えるべきものがあると気づきました。



介護職員初任者研修修了証書授与

「産業社会と人間」では、総合学科の特徴でもある体験的な授業も印象に残っています。夏休みの課題研究で行ったボランティアとデュアルシステムが大きな取り組みでした。夏のボランティアでは、お年寄りと関わることは少なかつたのですが、小さい子がたくさん来てくれて多くの人の関わり方や、どうしたら楽しませることができるとか、といった面でたくさん学ばれました。デュアルシステムでは、介護の仕事を実際自分で体験してみることが、介護という仕事についてたくさん知ったり感じたりすることができたと思います。食事介助、入浴介助、排せつ介助などたくさん学ばせていただいて、お年寄りと関わることを学べるので、すごく楽しかったです。しかし、上手くできなかったり伝わらなかつたり、大変なことも経験できました。実際に体験することがたくさんありました。

最後にマイライフプランでは、自分の人生について深く考えることができる機会になったと思います。今まで将来何になりたいのか、就職や進学かなど大雑把にしか考えることがなかつたけど、年収や家族、子供、ローンなど細かく自分の人生を考えることができ、夢についても考えやすくなりました。とてもいい経験になったと思います。

これから二年生になって系列ごとの授業がどんどん増えていきます。自分が知らないことをたくさん学べると思うので、何事にも興味をもって自分から進んで取り組むことを大切にしたいと思います。

松井優芽 (萩原北中学校卒業)

健康福祉系列介護コースの三年生が、頑張ってきた介護職員初任者研修の修了証書授与式が卒業式の前日に行われました。全員が、いろいろな思いをもって取り組んだ研修だけあって、修了証書を手にした生徒たちは、晴れ晴れとした表情でした。卒業後は、就職や進学とそれぞれの道に進みます。卒業生の活躍を期待します。